

## 1 直近の活動

12月4日(日)幹事会

12月11日(日)金属部会CPD技術セミナー4「脱炭素社会」108人参加

11月27日(日)定例部会技術講演会50人参加。役員会。

## 2 今後の活動予定(直近1ヶ月分)

1月8日(日)幹事会

1月9日(月)デジタル技術短期WORKSHOPキックオフ

1月11日(日)技術士会新春記念大会

1月22日(日)吉武記念講演会(第二回目)

## 3 部会四方山

▶2022年の部会活動の年間参加者は、年末の定例部会で累計1500人を超えました。年初の吉武記念講演会で1500人目の発表を行いたいと思います。エア表彰式、エアお祝いの言葉、エア受賞の言葉をいただければと考えています。▶一言で累計1500人と言ってもピンとこないかもしれません。これは定例部会、セミナー、見学会で1000名強、合同部会、交流会、講習会、勉強会などで500名がその内訳です。毎回、数十人のご参加をいただき、それを地道に回数を重ねた結果です。ひとえに、部会員の皆様、金属部会の行事に参加いただいた技術士会の他部会の皆様のご協力があった賜物です。実はこれに毎月行っている行事の企画などを議論している幹事会や役員会を入れれば、更に300人以上が上乘せされます。▶技術士は、常にCPDを心がけて技術を、伝達スキルを、知見を磨き続けなければなりません。それには、資格取得の際の努力の二桁、三桁を上回る精進が必要でしょう。自分で常に精進し続ける気がいつも充実していればいいのですが、それだけに関わっているわけにもいかないのが実態です。それをなんとか部会のメンバの力を結集して、それを分かち合える場を作りたい、その皆様の思いへの共感の結果が累計参加者の数字になったのではと思います。

## 4 和鐵管見 16

▶一年の経つのは早いものだ。特にコロナが流行り出してからは、海外旅行をするわけでもなく、せいぜい東京、関西方面に出かけるくらいになれば、記憶が更新されることも少なくなった。刺激が少ない毎日は、緊張感がなくなった。と言っても、以前と比べての刺激だが。▶以前、心理学の本で、豪華な監獄の話を読んだことがある。皆さんが、とっても豪華でなんでも手に入り、美味しい食事ができるホテルに泊まっているとする。唯一の制約は、ホテルから一生出られないことだ。こういう状況と、豪華ではないが自由に外に出る家に住んでいる環境とどちらを選ぶかと言う設問だった。▶答えは自由を選ぶと言うものだった。でもこの設問は時代遅れだ。現代なら、豪華なホテルに閉じ込められていても、メールやZOOMで外部と交流ができる。ツイッターもあり、いいねがたくさん押されれば全然不自由は感じない。躊躇なく都民割で10連泊する方をとる。▶この数年で、活動のあり方が多様化したような気がする。これまで通りの活動もまだある。しかし、部会にしても、学会にしてもオンラインで自宅の席から参加できる利便性を知ってしまった今日では、コロナ前の生活には戻れないような気がする。あの海外に出かけて浮かれていた生活はなんだったんだろうと感じてしまう。▶いま我々はおよそ10年毎に訪れる大きな歴史の転換点に立ち会っている。10年前のあの震災後の失望感の中から立ち上がった

2013年、それからの10年はご存じのとおりだ。何もかも浮かれて過ごしてきた。その前の10年の2003年。20年前か。まだ若かった。仕事漬けで会社に寝泊まりしていた。まだ「24時間働けますか」が残っていた。▶いま東京行きの快速の中で、iPadでこの文章を書いている。記憶を辿っているうちに、いつもそばにいたのは家族と技術士会だったと気づいた。会社の思い出もあるが、やはり筆者の原点は技術士会だった。当時、半年休をとって電車で揺られて東京に通っていた。しょっちゅうではなかったが、部会や講演会に通った。その時知り合った大先輩の姿が、少し年上の先輩の姿が輝いて見えた。▶技術士でなかったらどんな生活を送っていたのだろうか。家にこもって幸せな老後を迎えていたのだろうか。2006年から始めた書籍の執筆もなかっただろうし何より様々な人との繋がりもなかっただろう。▶そろそろ東京に着きそうなので回想もここでやめよう。一つだけ確実なことは、技術士になっているいろんな経験を与えてもらった。この恩返しは、この思いを金属部会の皆さんと分かち合うことしかないと感じている。▶新たな年が始まった。今年も皆さんと経験を共有する刺激的な年になるだろう。金属部会の皆様、2023年、新年明けましておめでとうございます。和鐵